

「福島復興への責任を果たすために」

～福島復興へ向けた取り組み～

2017年6月30日

東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社

福島復興本社代表あいさつ



福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故により、今なお、発電所周辺地域の皆さま、福島県の皆さま、そして、広く社会の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

このたび、福島復興本社代表に就任いたしました。

震災から6年以上経過し、浜通り地方の避難指示解除が進む一方、今もなお、多くの皆さまが避難を余儀なくされている状況が続いています。

復興が進み、ひとりでも多くの皆さまに帰還いただけるよう、私自身が福島復興本社の先頭に立ち、より一層地域の皆さまに寄り添った活動を加速させていく所存です。

「福島への責任を果たす」ことが我々の使命であり、原点です。このことをしっかりと胸に刻み、これからもグループ一丸となって、福島復興に向けて活動を進めてまいります。

2017年6月

福島復興本社代表

大倉 誠

福島復興本社の組織体制 (2017.7.1より)

福島本部

主な業務: 各所と連携した地域対応、復興本社代表補佐
設置箇所: 富岡町(浜通り電力所・総括箇所)等

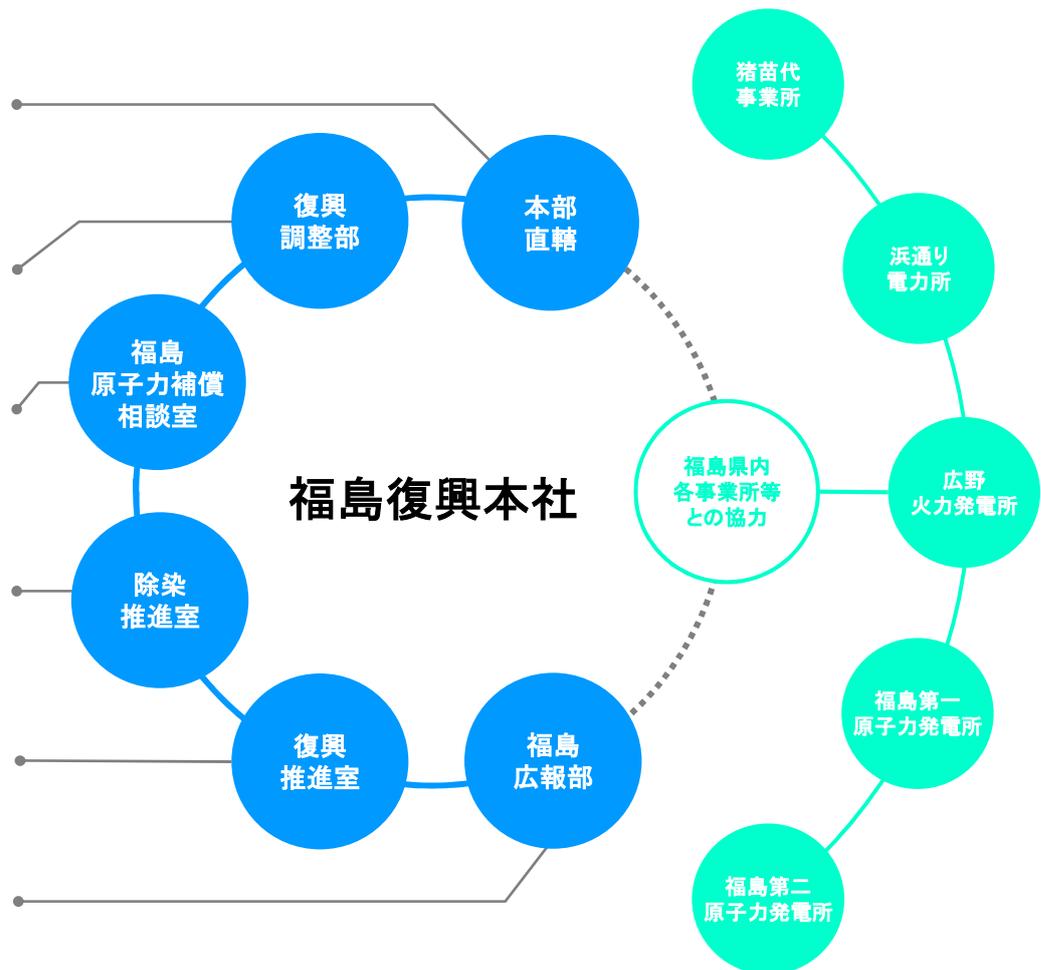
主な業務: 国、自治体と連携した復興本社の施策立案、踏計画策定、地域のみなさまからのご要望への対応策の立案
設置箇所: 東京(総括箇所)、富岡町(浜通り電力所)等

主な業務: 賠償業務(円滑かつ早期の貫徹)
設置箇所: 福島市(総括箇所)、いわき市、郡山市、金津若松市、南相馬市等

主な業務: 除染等推進業務(国・自治体による除染後のフォロー・中間貯蔵事業・環境回復に対する人的・技術的貢献等)
設置箇所: 福島市(総括箇所)、富岡町(浜通り電力所)等

主な業務: 復興推進業務(帰還に向けた清掃・片付けや農業・商業再開など県内における人的貢献等)
設置箇所: 福島市(総括箇所)、富岡町(浜通り電力所)、楢葉町、南相馬市等

主な業務: 広報業務(県内の原子力・火力・水力発電所ならびに賠償・除染・復興推進の状況の広報活動等)
設置箇所: 福島市(総括箇所)、富岡町(浜通り電力所)



本資料は、第七版(2017年3月発行)に記載した内容に、その後の取り組みの追加や実績の更新等を行い、改めてとりまとめました。※各取り組みの右上に「新規」、「更新」の表示あり

(ページ)

1.除染等推進活動

1. 除染等への対応	3
2. 中間貯蔵への対応	9
3. 廃棄物・リサイクル等への対応	11
4. 環境回復・コミュニケーションへの対応	12
5. 技術開発	17

2.復興推進活動

1. 「避難指示解除」に向けた取り組み	19
2. イベント対応	20
3. 見回り隊／駆けつけ隊	22
4. 清掃・片付け	23
5. 除草作業	26
6. 荷物運搬・整理	28
7. 仮設住宅の除雪	30
8. 一時帰宅対応	31
9. 介護研修会（講師派遣等）	32
10. 福島県内への派遣活動	33
11. 刈払機の安全教育	33
12. 営業再開等に向けた対応	34

3.原子力損害賠償について

1. 組織体制	35
2. 補償相談センター	35
3. 補償相談コールセンター	36
4. 補償推進ユニット	36

4.福島県産品購入の取り組み

1. 福島県産品販売促進活動	37
2. ふくしま応援企業ネットワークの取り組み	38

5.活動実績

1. 復興・除染推進活動の実績	39
-----------------	----

<避難指示解除前の線量確認・現地調査>

- 実施日：2014年5月～2017年3月
- 実施場所：福島県 富岡町、浪江町、飯館村、川俣町 山木屋地区
- 実施内容：環境省からの要請による、避難指示解除前の確実な線量低減に向けた、本格除染およびフォローアップ除染における線量確認や、除染手法等提案のための現地調査
※ 帰還困難区域を除く
- 実績：延べ約30,860人



【富岡町モニタリング状況】
（除染前の現地調査状況）



【浪江町モニタリング状況】
（除染中の線量確認状況）



【飯館村モニタリング状況】
（除染前の現地調査状況）



【川俣町モニタリング状況】
（除染中の線量確認状況）

<避難指示解除前の富岡町夜の森地区桜並木の通りの現地調査>

- 実施日：2017年3月7日～3月9日
- 実施場所：福島県 富岡町
- 実施内容：環境省からの要請による、避難指示解除前の富岡町夜の森地区の桜並木がある通り（約300m）における線量確認等の現地調査
- 実績：延べ6人



【本格除染後の線量確認状況(1)】



【本格除染後の線量確認状況(2)】

除染等への対応（帰還後の安心に向けた施策）

更新

- 実施日：2015年5月～
- 実施場所：福島県 南相馬市、川内村、葛尾村、楡葉町
- 実施内容：環境省からの要請による、住民の方々がご不安に思われる箇所での現地調査や土壌除去等
※避難指示が解除された各地域で、同省と連携し実施中
- 実績：延べ1,468人(2017年5月末現在)



【簡易土壌除去状況(南相馬市)】



【現地調査状況(南相馬市)】



【現地調査状況(川内村)】

除染等への対応（学校施設等）

- 実施日：2016年10月24日～12月12日
- 実施場所：福島県 南相馬市 小高区
- 実施内容：環境省からの要請による、「福島県立小高産業技術高等学校」の2017年4月の開校に向けた、学校生活に係る箇所(学校敷地や小高駅前周辺等)のモニタリング
- 実績：延べ19人



【モニタリング状況(学校敷地)】



【モニタリング状況(小高駅前周辺)】

2.除染等推進活動

除染等への対応（農地）

- 実施日：2015年6月8日～8月19日
- 実施場所：福島県 浪江町、川俣町
- 実施内容：環境省からの要請による、農地復旧に向けた除染のうち、一部農地に繁茂した柳等の草木の効率的な除去方法評価に関する現地対応等
- 実績：延べ42人



【柳等の除去作業】



【現場対応状況】

除染等への対応（墓地）

- 実施日：2014年7月4日～7月26日
- 実施場所：福島県 飯舘村 長泥地区
- 実施内容：環境省からの要請による、墓地3箇所（計約8,000㎡）の除染工事における、現場の工事監督業務
- 実績：延べ52人



【砂利の剥ぎ取り前立ち会いの様子】



【除染作業（表土剥ぎ）の様子】

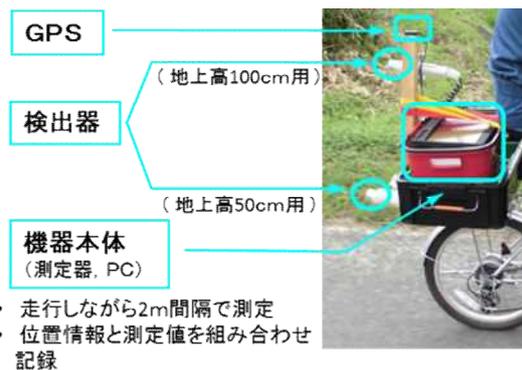
2.除染等推進活動

除染等への対応（通学路）

- 実施日：2016年4月19日～9月7日
- 実施場所：福島県 棚倉町
- 実施内容：棚倉町からの要請による、生徒の皆さんの安心に資するデータ取得のための自転車によるモニタリング
※通学路の測定のため、約220kmを対象に地表から100cmと50cmの高さで計測
- 実績：延べ218人



【自転車モニタリング状況】



【自転車モニタリング装置の概要】

除染等への対応（学校施設）

- 実施日：2015年7月29日～9月30日
- 実施場所：福島県 白河市(白河市立第一小学校 他5校)
- 実施内容：白河市からの要請による、小中学校の定期モニタリング調査協力
指向性モニタリング調査により、空間線量率に影響を与えている箇所についても評価
- 実績：延べ75人



【モニタリング状況】



【モニタリング状況】

2.除染等推進活動

除染等への対応（公共施設）

- 実施日：2014年8月29日～9月12日
- 実施場所：福島県 西郷村（学校施設4箇所）
- 実施内容：西郷村からの要請による、村内学校施設4校の植栽・側溝等の除染作業
※作業実施箇所の空間線量低減率
（地上50cm：50.2%～15.0%の低減）
- 実績：延べ172人



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年10月27日～11月5日
- 実施場所：福島県 古殿町（三株高原広場）
- 実施内容：古殿町からの要請による、震災以降初の山開きに向け、三株山を訪れた方が広場でのキャンプや催し物等を安心して楽しむための除染作業
※作業実施箇所の空間線量低減率
（平均値：14.0%）
- 実績：延べ82人



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年8月20日～9月5日
- 実施場所：福島県 古殿町（芝山自然公園）
- 実施内容：古殿町からの要請による、地元の人々にも大切にされ、「福島緑の百景」にも選ばれている芝山自然公園の除染作業
※作業前後の空間線量率（平均値）
 $0.86\mu\text{Sv/h} \rightarrow 0.50\mu\text{Sv/h}$ （低減率：42%）
- 実績：延べ129人



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年6月5日～7月1日
- 実施場所：福島県 大玉村（北部ふれあいセンター）
- 実施内容：大玉村役場からの要請による、地域住民の方々が利用される公共施設の除染作業
- 実績：延べ94人



【除染作業の様子】

2.除染等推進活動

除染等への対応（工場）

- 実施日：2014年10月29日～2015年3月9日
- 実施場所：福島県 田村市（中央化学株式会社 東北工場:2015年10月27日竣工）
- 実施内容：田村市からの要請による、中央化学株式会社 東北工場の早期再開に向けた、モニタリングや除染作業
- 実績：延べ100人



【屋内のモニタリング状況】



【屋外の側溝部 除染作業状況】

除染等への対応（宅地）

- 実施日：除染作業中 2013年11月18日～2015年3月13日
除染終了後 2014年11月17日～2015年6月11日
- 実施場所：福島県 桑折町
- 実施内容：桑折町からの要請による、同町の管理基準に基づく住宅の除染作業を2015年3月までに終了するための管理業務補助として、延べ800軒弱の除染作業中および終了後の線量等の状態確認
- 実績：延べ420人（除染作業中は延べ303人、除染終了後は延べ117人）



【現場調査状況（地表面の汚染密度の測定）】



【現場調査状況（除染範囲把握のための測定）】

中間貯蔵への対応（輸送量拡大に向けた対応）

更新

- 実施日：2016年4月～
- 実施場所：福島県内全域
- 実施内容：環境省からの要請による、仮置場から中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送量拡大に向けた、技術検討・展開実態調査※
※運搬時の遮水対策や保管容器への効率的な収納方法など
- 実績：延べ1,317人(2017年4月末現在)



【荷台遮水対策の実施状況確認】



【保管容器内収納状態の確認】

中間貯蔵への対応（輸送に係る講習会）

更新

- 実施日：2016年5月～
- 実施場所：福島県内
- 実施内容：環境省からの要請による、除去土壌等の輸送を安全かつ円滑に実施するための、仮置場の解体・輸送業務監督員等への講習会
輸送量の増大に伴い、新たに監督業務に就かれる方々に対して、試験（パイロット）輸送時の経験に基づき、仮置場からの除去土壌等搬出時の確認項目や着目点等について説明
- 実績：延べ38人(2017年5月末現在)



【講習会（机上）の状況】



【講習会（仮置き場）の状況】

○環境省指示および施工計画書と対比して適切に施工されているか確認する
○詰め込み量を確認する（日報もしくは踏き取り）



・高さ確認状況



・2個目詰め込み状況

【解説】可燃物の自然減容により容量が減った保管容器を集約
【講習会資料（ポイント集）の一例】

中間貯蔵への対応（輸送実施に向けた事前調査）

更新

- 実施日：2016年4月～2017年3月
- 実施場所：福島県内
- 実施内容：環境省からの要請による、2016年度における仮置場から除去土壌等を円滑に搬出するための事前調査等
パイロット（試験）輸送の実績を活かした、輸送規模拡大に向けた対応
- 実績：延べ1,257人



【現場調査状況（仮置場入口の寸法確認）】



【調査項目の一例】

中間貯蔵への対応（パイロット（試験）輸送）

- 実施日：2015年3月13日～2016年3月28日
- 実施場所：福島県内
- 実施内容：環境省からの要請による、大量の除染土壌等を輸送する段階に向けた、仮置場の解体・搬出時の工事監督補助や課題抽出・解決に向けた検証
- 実績：延べ2,772人

【仮置場の解体・搬出時の工事監督補助】



【現場状況】

【検証した項目】



廃棄物・リサイクル等への対応

<滞留牛ふん堆肥の流通回復>

- 実施日：2013年5月23日(初回運搬)～2016年6月末
- 実施内容：暫定許容値(400Bq/kg)以下の滞留堆肥の流通を促進させるため、県及び地元自治体等が、各地域の滞留堆肥供給者と受け入れ先とのマッチングの調整を行い、当社は堆肥の運搬・散布作業を手配
- 取組実績：県内17の地域協議会等と実施協定を締結し、各地域で実施
 - ・最終的な滞留解消量は、延べ約10万2千トン
 - これは約5千ヘクタール※の畑への散布に相当(東京ドーム1,091個分)

※1トンの堆肥の散布面積を5アールとして算出



【滞留堆肥の解消量(累計)】



散布準備



散布

【堆肥散布の状況】

<海岸防災林の再生>

- 実施日：2016年4月15日～4月16日
- 実施場所：福島県 相馬市
- 実施内容：津波により被害を受けた海岸防災林の再生に向け、NPO法人日本バーク堆肥協会が主催する植栽活動に参加
相馬市磯部地区において、クロマツを植栽
- 実績：延べ15人



【クロマツの植栽】

<避難指示区域内残置自動車>

- 実施日：2013年9月～
- 実施場所：福島県 富岡町、楡葉町、浪江町、大熊町
- 実施内容：環境省からの要請による、公道および公共施設に残された自動車の実態調査
富岡町、楡葉町、浪江町、大熊町で順次実施し、当社に賠償請求中および賠償済みの残置自動車※について、撤去・処分に関するご意向確認の案内文書を所有者さまに発送
※公道・公共施設・ご自宅等にやむを得ず残された自動車が対象
- 実績：延べ373人(2017年5月末現在)

更新



【現地調査状況】

環境回復・コミュニケーションへの対応（JR常磐線の運転再開）

新規

- 実施日：2017年2月1日、3月8日
- 実施場所：JR常磐線 小高駅～浪江駅間 8.9km
- 実施内容：内閣府原子力災害対策本部からの要請による、JR常磐線(小高駅～浪江駅間)の運転再開に向けた、同区間を走行する線路上及び列車内モニタリング
列車内では、乗車される方の座っている状態や立っている状態を擬態して測定
（列車内の空間線量率測定結果: 0.04～0.65 μ Sv/h）
（同区間1往復の被ばく線量: 約0.054 μ Sv ※）

■実績：延べ28人

※胸部X線被ばく線量(1回あたり60 μ Sv)の約1100分の1
出典:内閣府原子力災害対策本部公表資料(2017年3月30日)



【線路上モニタリング状況】



【列車内モニタリングの状況】

環境回復・コミュニケーションへの対応（原子力規制人材の育成への協力）

新規

- 実施日：2017年3月6日
- 実施場所：福島県 富岡町および福島復興本社(浜通り電力所)内
- 実施内容：福島工業高等専門学校からの協力依頼による、同校の原子力規制人材の育成への取り組みにおけるインターンシップ対応
学生(8名)に対し、除染・中間貯蔵に係る当社活動状況説明や除染現場見学等

※ 原子力規制庁の平成28年度人材育成事業。実施事業名「地域の環境回復と環境安全に貢献できる人材の育成」

■実績：延べ7人



【除染等に係る活動の説明状況】



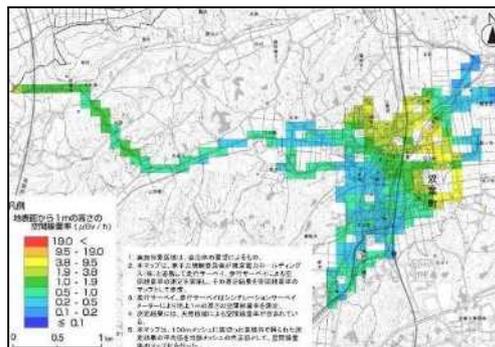
【除染現場の見学の状況】

<復興拠点予定地等の詳細モニタリング>

- 実施日：2016年7月20日～10月4日
- 実施場所：福島県 双葉町、富岡町、大熊町、楡葉町、南相馬市、飯館村、浪江町、葛尾村
- 実施内容：原子力規制委員会原子力規制庁からの要請による、復興拠点予定地等の自治体要望箇所についての詳細モニタリング
今後の住民の皆さまのご帰還に資するデータの充実のため、自動車および歩行モニタリング装置を活用した、約300km(自動車約282km、歩行約18km)に亘る区間の空間線量率測定
- 実績：延べ61人



【モニタリング打合せ状況】



【双葉町の測定結果】

出典：2016. 11. 18 原子力規制委員会公表資料

<常磐自動車道の開通に向けた空間線量率測定>

- 実施日：2014年10月21日～2015年1月27日
- 実施場所：常磐自動車道 広野IC～南相馬IC間(49.1km)、
ならはPA、国道288号及び県道35号の一部(15.1km)
(帰還困難区域:6.5km)
- 実施内容：内閣府原子力災害対策本部からの要請による、常磐自動車道 常磐富岡IC～浪江IC間開通に向けた、空間線量率測定
自動車等で通行した際の放射性物質の影響を確認するための対応
- 実績：延べ26人



【ならはPA歩行モニタリングの様子】

<避難指示区域等主要道路の走行モニタリング>

- 実施日：2013年1月9日～
- 実施内容：内閣府・原子力規制委員会からの要請による、福島県内の避難指示区域等の主要道路(約1,619km)の走行モニタリング
(1巡あたり5週間程度計測走行)
計測データを提出後、国から公表
2011年8月に実施した第1巡目より継続的に対応
- 実績：延べ1,354人(2017年5月末現在、第27巡目まで終了)

更新

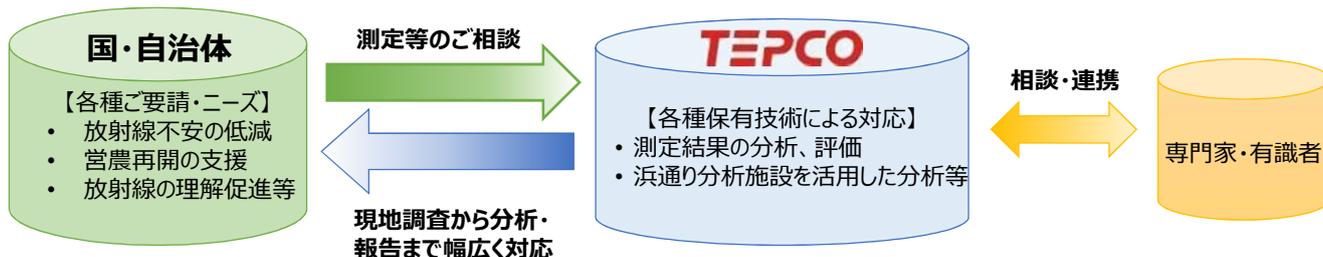
線量計
(シンチレーション式サーベイメーター)



【車内の様子】

- 概要 要：避難指示解除後の復興に向け、放射線や放射性物質の測定・分析技術による地域支援の強化に取り組む
 除染等推進活動で蓄積したノウハウを活かし、現場調査から分析・報告までの幅広いニーズに対応可能
 国・自治体等の帰還や営農再開などの取組みに対し、浜通り電力所内にある分析施設を拠点として、総合力で現地ニーズに丁寧にお応えしたい

1. 環境回復に向けた技術サポートの流れ



2. 各種保有技術と技術サポート事例 ～技術力を活かし、幅広いご要請・ニーズに対応～

★自社の開発技術およびノウハウを保有

各種保有技術
～幅広いニーズに対応～

- ★個人線量計測・解析技術 (個人線量マップ等)
- ★指向性モニタリング技術
- ★放射性物質濃度分析技術
- ★放射性物質分布画像化技術 (イメージアナライザー)
- ★現地調査技術 (ノウハウ・データ評価等)
- ★放射性物質濃度分析技術
- ★シミュレーション技術 (線量分布・低減等)
- ★土壌成分分析技術 (カリウムメーター等)
- ★他モニタリング技術 (コンプトンカメラ・プラスチックシンチレーションファイバー検出器等)
- ★移動式モニタリング技術 (自動車・歩行・ドローン等)

浜通り分析施設

分析施設内の様子（浜通り電力所敷地内）

【主な設備】

- ・ゲルマニウム半導体スペクトロメータ
- ・イメージアナライザー
- ・α/β線自動放射能測定装置 等

【ご要請に基づく分析の実績】
(ゲルマニウム半導体スペクトロメータ)

- ・2015年度： 約2,300検体
- ・2016年度： 約2,400検体

環境回復に向けた技術サポートの事例

原木しいたけ栽培再開に向けた確認試験における調査を実施

牛の餌や飲み水の放射能濃度を測定

個人の被ばく量を分析し、フィードバック

林側からの空間線量率への影響を調査

農地土壌等の放射性物質分布の調査、作物の吸収抑制に向けた技術サポート

<畜産再開に向けた対応>

- 実施日：2015年10月～
- 実施場所：福島県 飯館村、檜葉町
- 実施内容：飯館村および福島県農業総合センターからの協力依頼による、畜産再開に向けた、牛の飼育環境における牛舎等の放射線量や飼料等の放射能濃度の測定および、個人線量測定
- 実績：延べ279人(2017年5月末現在)



【飯館村(飼料のサンプル採取状況)】



【檜葉町(モニタリング状況(牛舎))】

<農業用施設の運用再開に向けた対応>

- 実施日：2016年2月9日～2月10日
- 実施場所：福島県 南相馬市
- 実施内容：福島県からの要請による、南相馬市内にある穀物の共同乾燥調製施設の秋の収穫までの運用再開に向けた、各設備・周辺モニタリング
- 実績：延べ8人



【モニタリング用試料採取状況】

<原木しいたけ栽培再開に向けた対応>

- 実施日：2015年7月28日～2016年3月17日
- 実施場所：福島県 田村市、西郷村、中島村
- 実施内容：福島県からの協力依頼による、「原木しいたけ栽培再開のための確認試験」に関する汚染の外部要因(風雨、泥はね等)調査
植菌されていない原木では、泥のはねあがりなど地面からの影響を抑えることで効果があることを確認し、調査結果を県に報告
- 実績：延べ230人

模擬原木:粘着シート・不織布を巻いた塩ビ管



【泥はねの影響調査】

採取びん



【雨のサンプリング】

空気を吸引し
浮遊ダストを収集



【ダストサンプラー装置】

<「川内の郷かえるマラソン」開催に向けたモニタリングへの対応>

- 実施日：2017年3月24日、31日
- 実施場所：福島県 川内村
- 実施内容：川内村からの要請による、「第2回川内の郷かえるマラソン～走り出そう！次の一步へ～」の開催に向けた各マラソンコースにおける個人線量計による線量および、歩行モニタリングによる空間線量率の測定
 <参考>ハーフマラソンコース測定結果
 - ・個人線量測定結果：約0.469 μ Sv※
 - ・空間線量率測定結果：0.05～0.38 μ Sv/h
 ※徒歩で要した時間（4時間）で評価

■実績：延べ8人



【歩行モニタリングの状況】



【個人線量のマップ】
(ハーフマラソンコース)

<葛尾村における日山山頂および登山道モニタリングへの対応>

- 実施日：2016年9月15日～9月27日
- 実施場所：福島県 葛尾村
- 実施内容：葛尾村からの要請による、日山に登山する方々への情報提供を目的とした、山頂および葛尾登山道のモニタリング
 空間線量率測定に加え、個人線量についても、山頂まで約4kmの行程を登山し測定

空間線量率(地上高1m)の平均値：
 山頂 0.29 μ Sv/h 登山道 0.51 μ Sv/h
 個人線量（山頂までの往復・山頂滞在含めて6時間の場合）：約2 μ Sv/回

■実績：延べ7人



【日山神社前(山頂)での測定状況】

<高校生のベラルーシ共和国訪問時の個人線量計測等への協力>

- 実施日：2016年7月11日～11月26日
- 実施内容：「日本・ベラルーシ友好訪問団2016」に参加された福島県浜通りの高校生(20名程度)の皆さまの、ベラルーシ共和国訪問時の個人線量計測支援
 渡航時および現地活動時の計測データに基づく個人線量マップ作成や、視察報告会※における技術サポート
 ※ 国際フォーラム『被災地から考える』
 「30年後の故郷に贈る福島県浜通り高校生ベラルーシ共和国視察報告」

■実績：延べ10人

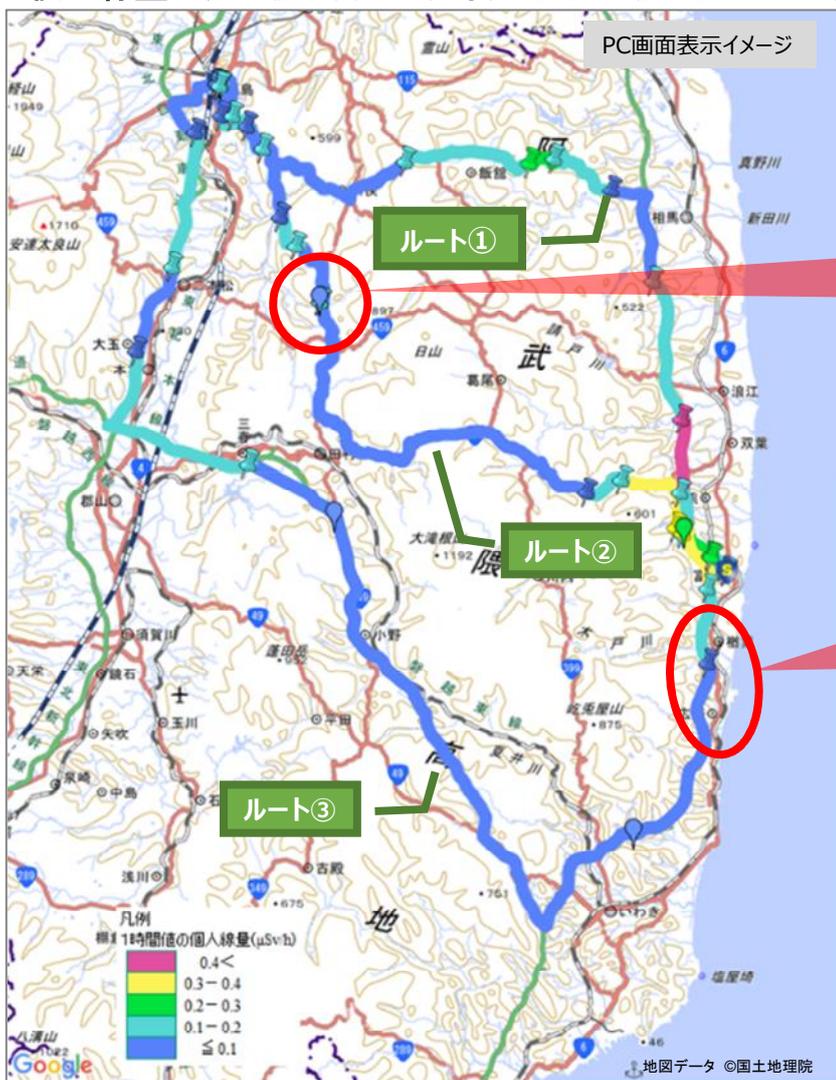


【事前打合せ(技術サポート)状況】

技術開発（個人線量計およびGPSを活用した「個人線量マップ作製ソフト」の開発）

- 実施日：2016年4月～6月
- 概要：空間線量率ではなく、個人線量ベースのマップ作製を容易に可能※1とするソフトウェアを独自開発
 - ※1 当ソフトのご利用には、汎用品の個人線量計※2とGPS端末が必要
 - ※2 高精度な線量マップ作成には、高頻度(1分単位)で計測可能な個人線量計を推奨（富士電機製 DOSEe-nano等）
- 以下機能を備えたソフトウェアの開発は国内初（当社調べ）
 - ▶個人線量を行動に沿ってマッピング（線量レベルを色で表示）
 - ▶移動時あるいは滞在箇所を自動判別し、その個人線量を地図上に表示
 - ▶Googleマップ上にも視覚的に表示可能
- 活用・展開：2016年6月29日より当社ホームページにて公開中
 - 広くご活用いただけるよう、国・自治体・学術機関等へのご紹介を展開中
 - 当ソフトを活用した帰還・復興への取り組み等に、当社としてサポートを実施予定
 - ご活用例：「ご自宅や通学路等の個人線量の把握」、「複数の移動経路ごとの個人線量の比較」など

個人線量マップ（復興本社から福島市内までの代表的な3ルート事例）



『滞在時』における個人線量の可視化



- 滞在した場所を自動判別してタグで表示
- タグの色で滞在時の個人線量(1時間値)が直感的に理解できる

『移動時』における個人線量の可視化



- 個人線量を移動経路上に色で示すことにより、移動時の個人線量(1時間値)が直感的に理解できる
- 移動開始～移動終了までの所要時間や個人線量の積算値も表示可能

2.除染等推進活動

技術開発（デッドレコニング技術を活用したモニタリング装置の開発）

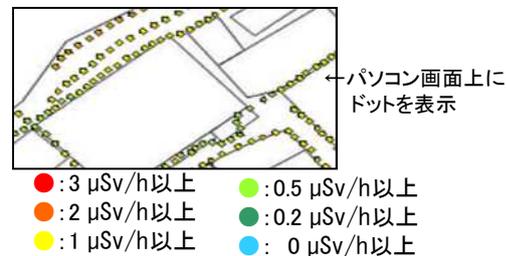
- 開発期間：2013年10月～2014年8月
- 開発内容：現在、人工衛星のGPS信号を活用した迅速・効率的な放射線モニタリングが広く行われているがGPS信号の受信が困難な場所でも効率的なモニタリングを可能とするために、サーベイメーターに自律的に位置情報を記録する装置（デッドレコニング装置）を組み合わせるシステム（ソフトウェア）を当社にて開発
- 活用・展開：これまでサーベイメーターの測定値を手作業で地図上に記録していた箇所において、パソコンの平面図上にリアルタイムに測定値を表示する事が可能となったGPSが使用できない屋内・壁際・建物近く等でも、迅速・効率的なモニタリングが可能となるため、今後、国や自治体からの様々なモニタリングのご要請に活用していく



【装置外観】



【測定試験の様子】



技術開発（指向性モニタリング装置の開発）

- 実施期間：2012年4月～2014年1月
- 実施内容：従来のモニタリング機能に加え、どの方向からの空間線量率の影響が大きいかわ定量的に評価できれば、効果的な除染に繋がると考え、指向性を向上させたモニタリング装置を開発
具体的な開発ポイントは、指向性をもたせた空間線量率の方法とその装置の開発、効率的に全方位を評価する方法と測定結果の表示方法



【測定の様子】



【開発した指向性モニタリング装置】

「避難指示解除」に向けた取り組み

更新

- 実施日：2017年4月(富岡町)、2017年3月(飯舘村)、2016年7月(南相馬市)
2015年8月～10月(楡葉町)
- 実施場所：福島県 富岡町、飯舘村、南相馬市(小高区)、楡葉町
- 実施内容：避難指示解除前後に各市町村で開催された式典・イベント対応
(会場設営・運営補助等)
- 実績：延べ721人(富岡町48人、飯舘村40人、南相馬市 15人(式典参列)、楡葉町 618人)



【桜井南相馬市長による「避難指示解除宣言」の様子(南相馬市)】(2016年7月12日)



【キャンドルナイトの様子(楡葉町)】(2015年9月4日)



【復興祈念式典「記念植樹」の様子(楡葉町)】
(2015年9月5日)



【「いいてむらおかえりなさい式典」の様子(飯舘村)】
(2017年3月31日)



【「復興の集い2017」の様子(富岡町)】
(2017年4月8日)

3.復興推進活動

イベント対応（ならば雪まつり）

- 実施日：2017年2月16日～18日
- 実施場所：福島県 会津美里町（宮里応急仮設住宅）
- 実施内容：宮里仮設自治会による「ならば雪まつり」の運営補助（テント設営、雪像制作等）
- 実績：延べ26人



【雪像制作の様子】(2017年2月16日)



【当日の様子】(2017年2月18日)

イベント対応（広野“ふる里ふれあい”マラソン）

- 実施日：2017年1月27日、29日
- 実施場所：県道広野小高線（浅見川河口付近）および広野町内
- 実施内容：「広野“ふる里ふれあい”マラソン」の運営補助（会場設営、選手誘導、ブース支援等）
- 実績：延べ45人



【会場設営の様子】(2017年1月27日)



【ブース内での豚汁配布の様子】(2017年1月29日)

3.復興推進活動

イベント対応（ふたばワールド2016inかつらお）

- 実施日：2016年10月2日
- 実施場所：福島県 葛尾村
- 実施内容：葛尾村にて実施された双葉郡町村のイベント「ふたばワールド2016inかつらお」の運営補助（ブース運営、ステージ設営、ごみ収集等）
- 実績：120人



【ブース対応の様子】(2016年10月2日)



【ステージ設営の様子】(2016年10月2日)

イベント対応（双葉郡未来会議）

- 実施日：2016年3月19日
- 実施場所：福島県 郡山市（郡山市民文化センター）
- 実施内容：会議開催に向けた会場設営（パネルの運搬・組み立て）ならびに事務局側スタッフ（ブースへの展示・対応等）としての運営補助
- 実績：9人



【パネル組み立ての様子】(2016年3月19日)



【ブース対応の様子】(2016年3月19日)

- 実施場所：福島県 檜葉町、川俣町(山木屋地区)、葛尾村、南相馬市(小高区と原町区の一部)、富岡町、浪江町
- 実施内容：【見回り活動】
車で巡回しながらお声かけさせていただき、「重量物の移動」や「屋内のお片付け」など、ご要望を承り、帰還に向けたお手伝いを実施
- 【駆けつけ隊】
住民の皆さまよりご要請をいただき、重量物の移動や家屋清掃・除草等のうち簡易な作業について、当社社員が即時駆けつけ、お手伝いを実施

活動内容	市町村	開始時期	面会軒数	支援活動件数
見回り活動	檜葉町	2015年6月1日～	1,271軒	262件
	川俣町	2015年8月31日～	495軒	84件
	葛尾村	2015年8月31日～	732軒	80件
	南相馬市	2015年10月21日～	1,597軒	— ※
	富岡町	2016年9月17日～	360軒	119件
駆けつけ隊	浪江町	2016年11月22日～	77軒	77件

※南相馬市においては、「青パト」として活動を行っているため支援実績なし
(支援活動については、ボランティアセンターにて受付・実施)



【駆けつけ車両(浪江町)】(2016年12月)



【面会の様子(川俣町)】(2015年9月)



【駆けつけ隊活動の様子(浪江町)】(2016年12月)



【巡回中の様子(南相馬市)】(2015年11月)

■実施日：

広野町	2012年3月～	南相馬市	2012年4月～	楢葉町	2012年8月～
富岡町	2013年5月～	浪江町	2013年7月～	川内村	2013年7月～
川俣町	2014年2月～	大熊町	2014年5月～	田村市	2014年5月～
双葉町	2014年8月～	葛尾村	2014年10月～		

■実施場所：福島県 広野町、南相馬市、楢葉町、富岡町、浪江町、川内村、川俣町、大熊町、田村市、双葉町、葛尾村

■実施内容：家屋内の片付け、清掃、屋外搬出

■実績：延べ約110,000人(2017年5月末現在)



【片付けの様子】(2015年7月5日)



【片付け前の様子】(2015年7月5日)

【片付け後の様子】(2015年7月5日)

清掃・片付け（農林業用倉庫）

更新

- 実施日：2016年5月9日～
- 実施場所：福島県 川俣町山木屋地区
- 実施内容：農林業の再開に向けた農林業用倉庫ならびに納屋等の清掃
- 実績：延べ1,994人（2017年5月末現在）



【倉庫清掃の様子】(2016年6月8日)



【納屋清掃の様子】(2016年6月8日)

清掃・片付け（神社）

- 実施日：2016年12月14日～12月22日（うち7日間）
- 実施場所：福島県 相馬市、南相馬市、檜葉町、広野町
- 実施内容：各自治体並びに各神社からの要請による、初詣にむけた神社境内の清掃（落ち葉の集積、除草等）
- 実績：延べ477人



【落ち葉清掃の様子（檜葉八幡神社・広野町）】(2016年12月22日)



【清掃の様子（相馬小高神社・南相馬市）】(2016年12月21日)

3.復興推進活動

清掃・片付け（海水浴場）

- 実施日：2016年7月5日～7月7日、2015年7月8日～7月9日、2014年7月19日
- 実施場所：福島県 いわき市 勿来海岸
- 実施内容：勿来海岸の海水浴場の海開きに向けた、砂浜（約400m）や周辺施設のごみ拾い等の清掃活動
- 実績：延べ122人（2016年度：57人、2015年度：45人、2014年度：20人）



【勿来海岸の清掃の様子】(2015年7月8日)



【勿来海岸の清掃の様子】(2014年7月19日)

清掃・片付け（市営プール）

- 実施日：2016年6月2日～6月6日（うち3日間）
- 実施場所：福島県 田村市都路町
- 実施内容：プール開きに向けた市営プールの清掃
- 実績：延べ7人



【市営古道プール清掃の様子】(2016年6月3日)
(古道小学校の児童のみなさんと協働)



【市営古道プール清掃の様子】(2016年6月6日)
(都路中学校の生徒のみなさんと協働)

除草作業（住宅等への進入路）

更新

- 実施日：2013年9月24日～
- 実施場所：福島県 双葉町(延べ約720箇所・約10人/日)、大熊町(延べ約1,800箇所・約20人/日)
楢葉町(延べ約100箇所・約5人/日)
- 実施内容：公道から住宅への進入路および駐車スペースで支障になっている箇所の除草
- 実績：延べ約42,700人(2017年5月末現在)



【除草前の様子】(双葉町)



【除草後の様子】(双葉町)

除草作業（小学校）

- 実施日：2015年5月19日～5月21日
- 実施場所：福島県 楢葉町(楢葉南小学校)
- 実施内容：楢葉町教育総務課からの要請による、楢葉南小学校の再開準備に向けた校庭の除草(手摘みで実施)
- 実績：延べ178人



【除草前の様子】(2015年5月19日)



【除草後の様子】(2015年5月21日)

3.復興推進活動

除草作業（遊歩道）

- 実施日：2015年9月1日～9月29日（うち11日間）
- 実施場所：福島県 広野町（五社山遊歩道）
- 実施内容：広野町からの要請による、五社山遊歩道（ハイキングコース）の再開に向けた除草ならびに堆積土砂除去
- 実績：延べ139人



【除草前の様子】(2015年9月1日)



【除草後の様子】(2015年9月29日)

除草作業（果樹園）

- 実施日：2016年5月24日～5月25日
- 実施場所：福島県 会津美里町（宮里応急仮設住宅果樹園）
- 実施内容：仮設住宅の住民の方々が育成している、柿、柚子、りんご等の収穫に向けた除草（果樹園のお手入れ）
- 実績：延べ16人



【除草前の様子】(2016年5月24日)



【除草後の様子】(2016年5月25日)

除草作業（墓地）

更新

- 実施日：2013年3月2日～
- 実施場所：福島県 大熊町、葛尾村、川俣町、富岡町、浪江町、楡葉町、双葉町
※大熊町、葛尾村、川俣町、富岡町、楡葉町は2013年7月から活動実施
- 実施内容：墓地の除草および清掃
- 実績：延べ約18,000人(2017年5月末現在)



【除草前の様子】(2015年8月4日)



【除草後の様子】(2015年8月4日)

荷物運搬・整理（図書館）

- 実施日：2015年3月4日
- 実施場所：福島県 双葉町（双葉町図書館）
- 実施内容：震災により散乱した書籍類整理および館内清掃（1階図書館、2階職員室）
- 実績：35人



【書類整理前の様子】(2015年3月)



【書類整理後の様子】(2015年3月)

3.復興推進活動

荷物運搬・整理（役場）

- 実施日：2016年6月25日
- 実施場所：福島県 福島市(仮庁舎) → 飯舘村役場(本庁舎)
- 実施内容：福島市(仮庁舎)から飯舘村役場(本庁舎)への機能移転(荷物の搬出入)
- 実績：19人



【搬出前の様子】(2016年6月25日)



【搬出後の様子】(2016年6月25日)



【搬入の様子】(2016年6月25日)



【搬入前の様子】(2016年6月25日)



【搬入後の様子】(2016年6月25日)

荷物運搬・整理（公民館）

- 実施日：2015年3月25日～3月27日
- 実施場所：福島県 檜葉町公民館、檜葉町コミュニティセンター
- 実施内容：震災後、檜葉町コミュニティセンターに仮置きしていた備品を、災害復旧工事が完了した公民館へ運搬・格納(震災前の保管状態に復元)
- 実績：延べ60人



【公民館の作業前の様子】(2015年3月)



【公民館の作業後の様子】(2015年3月)

- 実施日：2012年12月10日～
- 実施場所：福島県 会津若松市、会津美里町内の大熊町・檜葉町仮設住宅の13箇所
- 実施内容：仮設住宅の屋根の雪下ろしや、生活通路確保のための敷地内除雪
- 実績：延べ約3,100人(2017年5月末現在)



【仮設住宅の除雪の様子】(2017年2月)



【除雪前の様子】(2017年2月)



【除雪後の様子】(2017年2月)

- 実施日：2011年5月23日～
- 実施場所：福島県 浪江町(高瀬・津島・加倉)
- 実施内容：帰還困難区域の住民の方々がマイカーまたは、マイクロバスで一時帰宅される際の、中継基地における受付時(防護服・線量計配布)、帰着時(線量測定)の対応
- 実績：延べ約73,900人(2017年5月末現在)



【来場受付の様子】(2017年2月)



【車両の線量測定の様子】(2017年2月)



【車両の誘導の様子】(2017年2月)



【足裏の線量測定の様子】(2017年2月)

■実施日：2013年5月20日～

■実施場所：福島県内で避難されている方々がお住まいの市町村
（いわき市、郡山市、南相馬市等）

■実施内容：

- 福島県をはじめ、13市町村※1を対象に、ご説明・ご提案や研修会活動を実施
- 避難生活を余儀なくされている高齢者の方およびその介護に携わること家族を対象として、健康の維持や介護状態の悪化防止に関するサロンイベントや勉強会を実施。また、介護職員の方々を対象とした介護技術研修会も実施
→各講師はグループ会社※2の介護福祉士など

■実績：

- サロン企画・運営：43回 [参加者：590人]
 - 住居向け勉強会：161回 [参加者：2,953人]
 - 介護技術研修会：87回 [参加者：1,563人]
- ※1回あたりの参加者数：10～30人程度
- 合計 291回 [参加者：約5,100人]
(2017年5月末現在)

※1 飯館村,いわき市,大熊町,葛尾村,
川内村,川俣町,田村市,富岡町,浪江町,楢葉町,
広野町,双葉町,南相馬市

※2 東電パートナーズ(株)
事業内容は介護保険事業およびこれに関する研修
事業・訪問介護・デイサービス・福祉用具のレンタル等



【サロン企画・運営(すき焼きじゃんけん)】



【介護勉強会(ベッドからの起き上がり介助)】



【介護技術研修会(接客マナー)】



【介護技術研修会(介助実習)】

3.復興推進活動

福島県内への派遣活動

- 実施日：2011年5月～
- 実施場所：○復興推進活動のため、本社や各事業所・発電所等から、バスで福島県内へ社員を派遣
○活動前には、活動に必要な情報共有のためのガイダンスや研修を実施
- 実績：ほぼ毎日、片道数時間かけて1台のバスに約35名の社員が乗車
(最大1日3台運行実績有り)

【参考】乗車時間：東京→福島 約3時間半／柏崎刈羽原子力発電所→福島約5時間
1日平均200人以上の社員が福島県内各地で復興推進活動に取り組んでいる



【バスへ乗り込む社員達(東京:鍛冶橋)】(2013年11月29日)

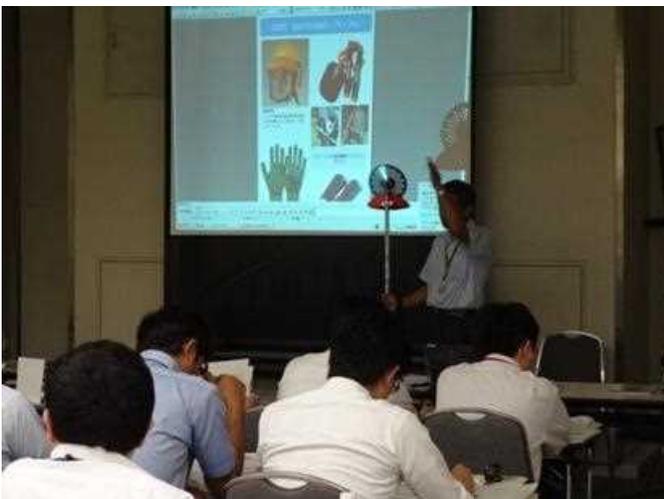


【ガイダンスの様子】(2015年11月18日)

刈払機の安全教育

更新

- 実施日：2013年4月～
- 実施内容：除草作業に使用する刈払機の使用にあたって、事前に安全教育(座学・実技)を実施し、福島県内の各地へ社員を派遣
- 実績：修了証発行者数は延べ24,673人(2017年5月現在)



【刈払機の安全教育(座学:本店)】(2014年7月31日)



【刈払機の安全教育(実技:Jヴィレッジ)】(2016年2月16日)

3.復興推進活動

営農再開等に向けた対応（畑の復旧）

- 実施日：2016年5月10日～5月31日、2015年6月2日～6月10日、2014年10月1日～10月31日
- 実施場所：福島県 川俣町 山木屋地区（4地点（2016年5月、2014年10月）、2地点（2015年6月））
- 実施内容：川俣町原子力災害対策課からの要請による、ユキヤナギ畑の復旧に向けた、ユキヤナギ畑内の除草（ユキヤナギ株周辺は手摘みによる除草）
- 実績：延べ約350人（2016年10月：170人、2015年6月：80人、2014年10月：100人）



【除草中の様子】(2015年6月)



【除草後の様子】(2015年6月)

営農再開等に向けた対応（大規模侵入防止柵の設置）

- 実施日：2016年4月11日～4月27日、2015年3月23日～5月16日
- 実施場所：福島県 南相馬市
- 実施内容：野生動物（イノシシや猿など）の田畑への侵入による被害を防止するため、田畑周囲に大規模侵入防止柵を設置
- 実績：延べ約286人（2016年度：148人、2015年度：138人）



【電気柵設置の様子】(2015年4月)

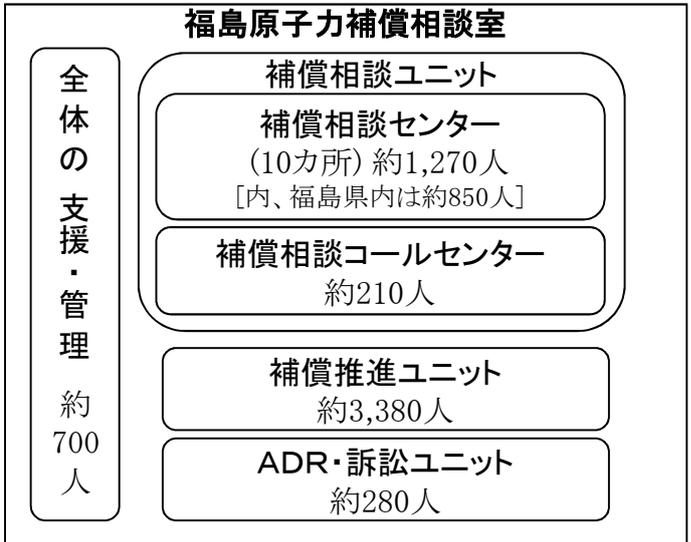
迅速な原子力損害賠償に向けた組織体制

更新

- 損害賠償の迅速かつ適切な実施のための方策「3つの誓い」を踏まえ、被害を受けられた皆さまに早期に生活再建の第一歩を踏み出していただくため、必要な体制を弾力的に整備しつつ、賠償を進めております。
- 今後も業務の運用改善等を図ることにより、引き続き最大限努力してまいります。



【福島原子力補償相談室配属前研修の様子】



補償相談センター

更新

- 設置数：10カ所（福島県内4カ所、福島県外6カ所）
- 業務内容：○賠償に関する説明会・相談対応、ご請求書の作成支援・受付、現地確認・説明
○主に相談窓口（福島県内に12カ所。※2017年6月5日時点）やご訪問先にて業務を実施
- 実績：窓口での受付対応件数 約599,000件、説明会開催件数 約1,500件、説明会へのご来場者数約33,200人、戸別訪問件数 約123,700件（復興本社設立以降2017年6月4日まで）



【相談窓口】



【個別相談ブース】（ご来場をお待ちしているところ）

補償相談コールセンター

更新

- 業務内容：○電話による賠償に関する問い合わせ、請求書の郵送手配・記入方法に関するご相談対応
○最後の一人まで適切に賠償を行うため、賠償金を未だに請求されていないご相談者さまへ電話を通じて請求のご案内
- 受付時間：9時～19時(月～金(除く休祝日))、9時～17時(土・日・休祝日)
- 実績：ご相談者さまからいただいたお電話の本数は約241万本(コールセンター設立以降、2017年5月末までの累計)



【補償相談コールセンターの様子】

補償推進ユニット

更新

- 業務内容：○請求書類の発送・受領、ご請求内容の確認、賠償の考え方についてのご説明・協議、賠償金額の算定およびお支払いの手続き
○ご請求内容の確認には、「個人賠償」「法人賠償」「財物賠償」に大別し、迅速かつ公正な賠償の実施に努めております



【補償推進ユニットの様子】

福島県産品販売促進活動（社内）

更新

- 実施日：2011年11月～
- 実施場所：本社ならびに各事業所
- 実施内容：社員一人ひとりが福島県産品を購入するよう、本社をはじめ各事業所で福島県産品の社内販売会等を実施
- 実績：約80事業所延べ約530回開催（復興本社設立～2017年5月末現在）



【本社販売会】(2016年12月16日)



【本社販売会】(2017年6月20日)

福島県産品販売促進活動（社外）

更新

- 実施日：2013年9月～
- 実施場所：各社本社ビル・工場内等
- 実施内容：企業主催の社内販売会や夏祭り・イベント等での販売サポートを実施
- 実績：28企業等77日間開催（復興本社設立～2017年5月末現在）



【社外イベント】(2016年9月10日)



【社外イベント】(2016年11月12、13日)

■福島県産品や観光の風評払拭に向けた活動の輪を広げ、その活動の定着を図ることを目的に
2014年11月の立ち上げ以降、会員企業も倍増し、活動を展開

設立日 2014年11月18日 設立

会 長 魚住 弘人 様 日立GEニュークリア・エナジー(株)取締役会長兼
(株)日立製作所原子カビジネスユニット技監

構 成 福島で廃炉作業等に携わり地域の実情を理解されている大手
企業10社と当社で発足(本年6月からは下記37社で活動)

活 動 会員各企業がそれぞれ創意工夫をしながら福島を応援

- ・福島県産品の購入促進*
 - ・福島県内の観光や会議施設の利用促進
 - ・福島県産品の安全性について現地視察研修
 - ・各企業が実施している活動事例の紹介と共有
- ※ 社員食堂での食材利用、社内販売会(産直市)等



会員企業【37社(50音順)】

(株)IHI, (株)アトックス, イーエナジー(株), 鹿島建設(株), 川崎汽船(株), 川崎近海汽船(株), (株)関電工,
(株)神戸製鋼所, JFEエンジニアリング(株), JFEスチール(株), 清水建設(株), 新日本空調(株),
積水ハウス(株), 損害保険ジャパン日本興亜(株), 第一生命保険(株), 大成建設(株), (株)大和証券グループ本社, (株)竹中工務店,
タニコー(株), 東京電力ホールディングス(株), (株)東芝, 東芝ブランドシステム(株), トッパン・フォームズ(株), (株)日本製鋼所, (株)日立製作所,
日立造船(株), (株)日立プラントコンストラクション, 富士通(株), 富士電機(株), 古河電気工業(株), 前田建設工業(株), 丸紅ユティリティ・サービス(株),
三井造船(株), 三菱重工業(株), 三菱商事(株), 三菱電機(株), 三菱マテリアル(株)

直近の実績

項目		H27年度実績	H28年度実績
■社員食堂での福島県産品の購入促進	県産米消費量	764トン	816トン
	特別メニュー提供	約31,000食	約43,000食
■企業マルシェの開催(産直市)	売上金額 (開催回数)	約11,500万円(306回)	約14,000万円(354回)
■贈答品、記念品での福島県産品の普及拡大	購入金額	約900万円	約2,000万円

※実績数値を採録している会員企業様のみを集計値(当社の取り組み実績を含む数値)

ふくしま応援企業ネットワーク視察会・幹事連絡会

【視察会】

日 時 : 2017年6月19日 12時30分～
場 所 : 福島県川内村
内 容 : 現地視察 (ルナウェア[※]の生産施設)
コドモエナジー(株)川内第一工場様

【幹事連絡会】

日 時 : 2017年6月19日 13時30分～
場 所 : 福島県川内村
内 容 : ・石崎代表(現福島担当特別顧問)挨拶
・ご講演(福島県) 他

※有田焼の技術を基にした、蓄光磁器製品(非常口の表示板等)



【コドモエナジー(株)川内第一工場の視察】



【幹事連絡会】

活動実績（2017年5月末現在）

＜復興推進活動＞

項目	内容	対応人数実績
清掃・片付け	住宅・海水浴場・神社等の清掃・片付け	約110,000人
除草作業	学校・住宅等への進入路・墓地・遊歩道等の除草	約108,300人
荷物運搬・整理	図書館・公民館等の荷物運搬・整理	約1,500人
除雪作業	仮設住宅・進入路等の除雪	約3,700人
一時帰宅対応	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約73,900人
営農再開等に向けた対応	除草・泥揚げ・電気柵の設置・点検、畑の復旧等	(約16,000人) * 除草・荷物運搬に含まれる
その他	イベント対応、見回り活動、介護研修会 他	約52,300人
合 計		約349,700人

＜除染推進活動＞

項目	内容	対応人数実績
除染(国直轄・市町村)への対応	除染作業現場における工事管理業務等への対応、除染後のフォローアップ業務への対応等	約129,300人
廃棄物・リサイクル等への対応	滞留中の牛糞堆肥運搬・施用を促進するスキームへの対応、残置自動車 [*] 撤去・処分への対応等 ※避難指示区域内	約9,400人
中間貯蔵への対応	試験輸送への対応、中間貯蔵に係る業務の技術的支援および調査・検討等	約37,000人
環境回復・コミュニケーションへの対応	放射線不安の低減に向けたモニタリングへの対応、産業再開に向けた測定・分析支援等の技術サポート等	約7,400人
その他	技術開発関連、除染に係る検討・提案等	約49,800人
合 計		約232,900人

本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。